



2027年3月期 第1四半期決算説明資料

日東電工株式会社

2026年7月28日

Nitto

Innovation for Customers

2026年度 Q1業績 (前年同期比)

Q1業績：増収増益

売上収益：2,717億円（+255億円） **営業利益：492億円（+66億円）**
(為替影響+87億円、中東情勢影響-20億円を含む)

インダストリアルテープ（増収増益）

電気剥離テープは採用モデル拡大。AIサーバーの需要拡大を背景に半導プロセス材の需要が増加

オプトロニクス（増収減益）

- ・車載向け光学フィルム、CIS、高精度基板は需要が堅調に推移
- ・IT機器向けはメモリ半導体価格高騰の影響を受け、需要が大幅に減少

ヒューマンライフ（増収増益）

25年度Q2から商用化ステージに移行した核酸受託製造の大型案件が業績に寄与

2026年度 通期営業利益 見通し

通期営業利益の予想を2,000億円へ上方修正（中東情勢影響*-100億円を織り込み）

	4月時点見通し	7月時点見通し
通期影響利益	1,930億円	2,000億円
米ドルレート	153.0円	158.0円

*中東情勢影響
原材料価格高騰と販売価格適正化の
ネット影響額

- | | | |
|----------|-------------------------|-----|
| 1 | 2027年3月期 第1四半期実績 | P4 |
| 2 | 2027年3月期 業績見通し | P12 |
| 3 | 補足資料 | P18 |

**1**

2027年3月期 第1四半期実績

2026年度Q1(4-6月)概況

5

(億円)

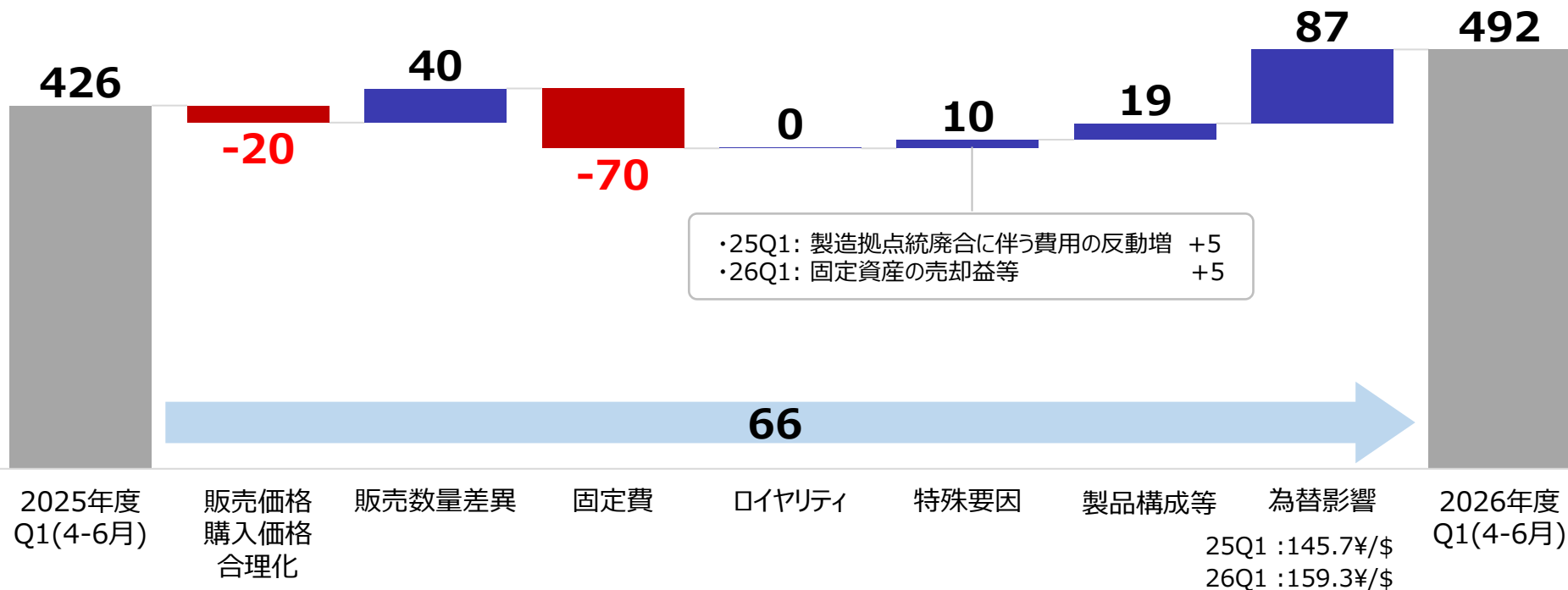
	2025年度Q1 (4-6月)	2026年度Q1 (4-6月)	前年同期比	
			金額	増減%
売 上 収 益	2,462	2,717	255	+10.3%
営 業 利 益	426	492	66	+15.4%
営 業 利 益 率	17.3%	18.1%	—	+0.8%
税 引 前 利 益	433	496	63	+14.5%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	313	339	26	+8.2%
米ドルレート(円)	145.7	159.3	13.6	+9.3%

2026年度Q1(4-6月) 前年同期比 利益増減分析

6

(億円)

※当分析は推計値

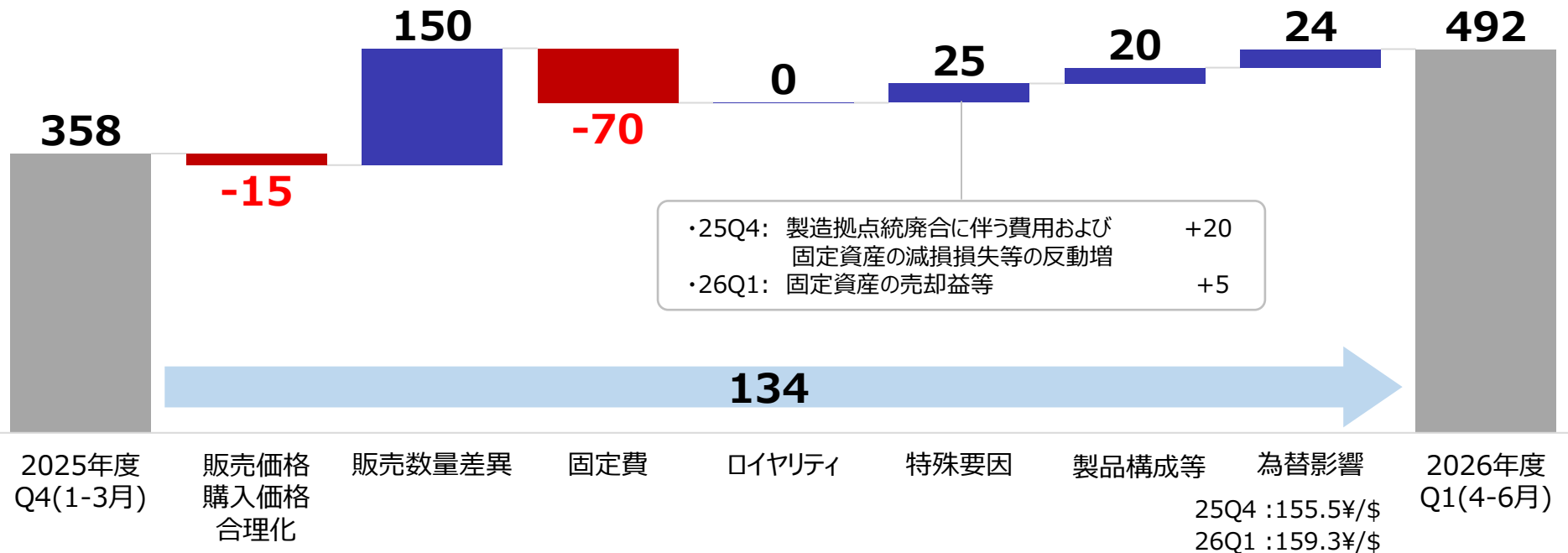


2026年度Q1(4-6月) 前期比 利益増減分析

7

(億円)

※当分析は推計値



2026年度Q1(4-6月) セグメント別業績

8

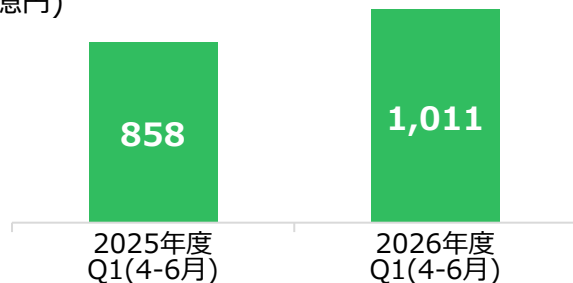
(億円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2025年度Q1 (4-6月)	2026年度Q1 (4-6月)	前年同期比	
			金額	増減%
インダストリアルテープ	858 99	1,011 163	153 64	+17.8% +64.9%
オプトロニクス	1,305 368	1,322 354	17 -14	+1.3% -3.8%
ヒューマンライフ	325 -16	408 -3	83 13	+25.6% —
そ の 他	0 -17	0 -18	0 -1	+363.9% —
調 整 額	-26 -7	-24 -3	2 4	— —
合 計	2,462 426	2,717 492	255 66	+10.3% +15.4%

セグメント別業績 インダストリアルテープ

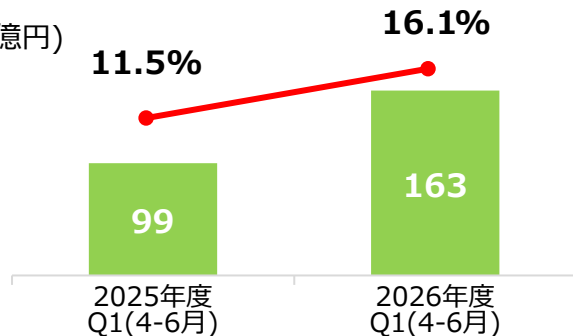
売上収益

(億円)



営業利益/営業利益率

(億円)



売上収益

1,011億円 (前年同期比17.8%増)

営業利益

163億円 (前年同期比64.9%増)

■エレキ

- ・ハイエンドスマートフォン向け組み立て用部材は、バッテリー固定用電気剥離テープの採用モデル拡大により需要が増加

■半導プロセス材

- ・AIサーバーの需要拡大を背景に、半導体メモリ向け工程用材料の需要が増加

■その他

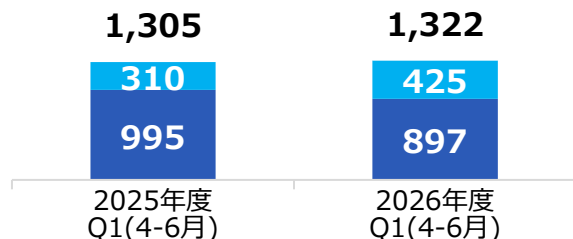
- ・一般工業用部材と自動車材料では、原材料価格高騰への対応として販売価格適正化を実施

セグメント別業績 オプトロニクス

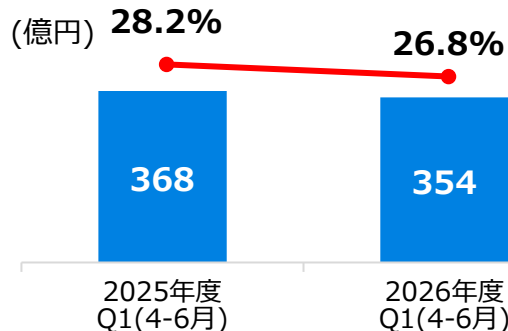
10

売上収益

(億円) ■ 情報機能材料 ■ 回路材料



営業利益/営業利益率



売上収益

1,322億円 (前年同期比1.3%増)

営業利益

354億円 (前年同期比**3.8%減**)

■ 情報機能材料

- ・ 車載ディスプレイ向け光学フィルムの需要が堅調に推移
- ・ ハイエンドノートパソコンやタブレット端末向け光学フィルムは、メモリ半導体価格高騰による顧客の生産調整に伴い、需要が大幅に減少

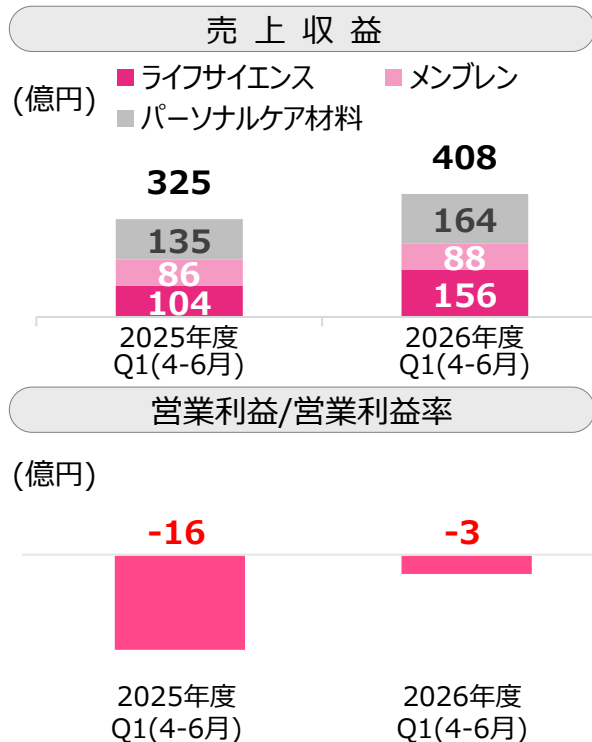
■ 回路材料

- ・ ハイエンドスマートフォン向け高精度基板は、顧客の生産増加に加え、当社新製品の販売開始が増収に寄与
- ・ 生成AIの普及によりデータセンター向けの高容量ハードディスクドライブ（HDD）の需要が増加し、CIS*は好調に推移

* CIS : Circuit Integrated Suspension

セグメント別業績 ヒューマンライフ

11



売上収益	408億円（前年同期比25.6%増）
営業利益	-3億円（前年同期比-）

■ ライフサイエンス

- 核酸受託製造は、25年度Q2期より商用化ステージへ移行した大型案件の生産が増収に寄与
- 核酸材料（NittoPhase™）は、顧客商用薬のグローバル展開が進んだことにより需要が増加

■ メンブレン

- 新興国における排水規制強化に伴い、インドや中国を中心に排水処理向けの高分子分離膜の需要が増加

■ パーソナルケア材料

- おむつ向け新製品と環境貢献型製品の拡販が寄与

**2**

2027年3月期 業績見通し

2026年度 業績見通し（対前年度比）

13

(億円)

	2025年度通期 (4-3月)	2026年度通期見通し (4-3月)	前年度比	
			金額	増減%
売 上 収 益	10,282	11,100	818	+8.0%
営 業 利 益	1,836	2,000	164	+8.9%
営 業 利 益 率	17.9%	18.0%	—	+0.2%
税 引 前 利 益	1,850	2,000	150	+8.1%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	1,335	1,420	85	+6.4%
米ドルレート(円)	150.2	158.0	7.8	+5.2%

2026年度 業績見通し（対前回予想比）

14

(億円)

	2026年度通期見通し (4月時点)	2026年度通期見通し (7月時点)	前回予想比	
			金額	増減%
売 上 収 益	10,650	11,100	450	+4.2%
営 業 利 益	1,930	2,000	70	+3.6%
営 業 利 益 率	18.1%	18.0%	—	-0.1%
税 引 前 利 益	1,930	2,000	70	+3.6%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	1,410	1,420	10	+0.7%
米ドルレート(円)	153.0	158.0	5.0	+3.3%

2026年度通期 セグメント別業績見通し（対前年度比）

15

(億円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2025年度通期 (4-3月)	2026年度通期見通し (4-3月)	前年度比	
			金額	増減%
インダストリアルテープ	3,666	4,060	394	+10.7%
	517	665	148	+28.7%
オプトロニクス	5,278	5,465	187	+3.5%
	1,499	1,480	-19	-1.2%
ヒューマンライフ	1,437	1,670	233	+16.2%
	-50	10	60	—
そ の 他	0	5	5	+4,154.6%
	-70	-80	-10	—
調 整 額	-100	-100	-0	—
	-59	-75	-16	—
合 計	10,282	11,100	818	+8.0%
	1,836	2,000	164	+8.9%

2026年度通期 セグメント別業績見通し（対前回予想比）

16

(億円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2026年度通期見通し (4月時点)	2026年度通期見通し (7月時点)	前回予想比	
			金額	増減%
インダストリアルテープ	3,804	4,060	256	+6.7%
	591	665	74	+12.5%
オプトロニクス	5,399	5,465	66	+1.2%
	1,497	1,480	-17	-1.1%
ヒューマンライフ	1,536	1,670	134	+8.7%
	-14	10	24	—
そ の 他	7	5	-2	-28.6%
	-79	-80	-1	—
調 整 額	-95	-100	-5	—
	-65	-75	-10	—
合 計	10,650	11,100	450	+4.2%
	1,930	2,000	70	+3.6%

＜本資料における注意事項＞

1. 業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。
2. 金額、比率(%)は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

**3**

補足資料

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

PBR(ROE×PER)向上に向けた取り組みを説明

公開日：2026年6月17日

掲載URL：https://www.nitto.com/jp/ja/sustainability/governance/capital_stockprice_action/

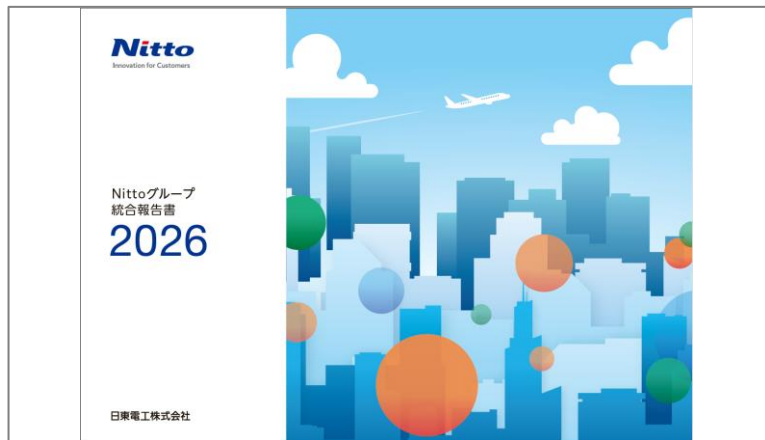
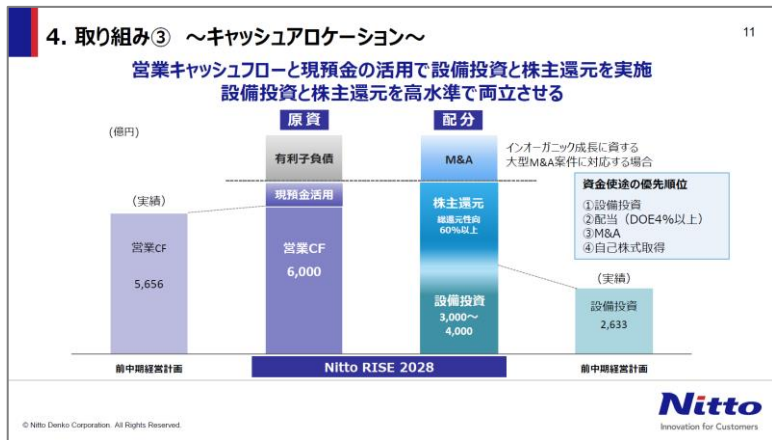
Nittoグループ統合報告書2026

新中期経営計画を中心に、成長ストーリーを説明

公開日：2026年7月31日予定（日本語）

2026年8月中旬予定（英語）

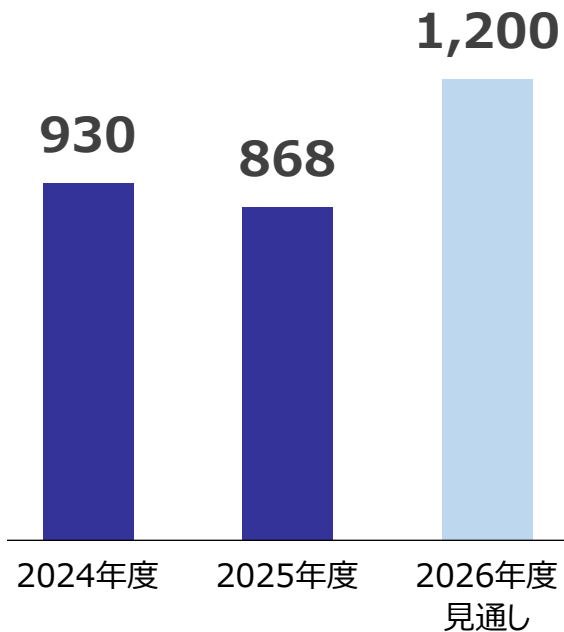
掲載URL：<https://www.nitto.com/jp/ja/sustainability/library/report/>



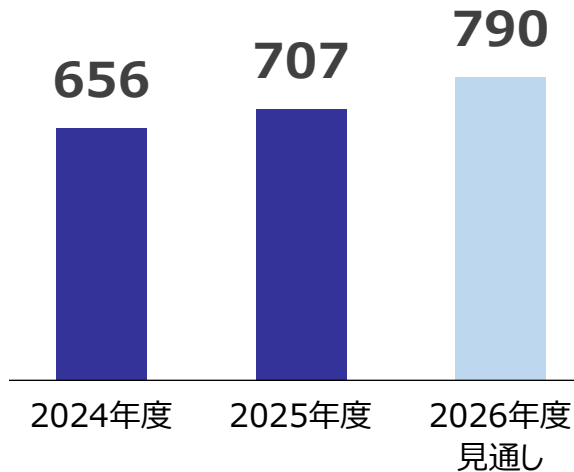
設備投資・減価償却費・研究開発費

20

設備投資額

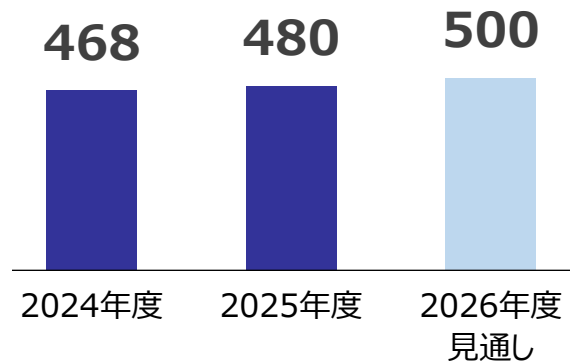


減価償却費



研究開発費

(億円)



連結キャッシュ・フロー計算書

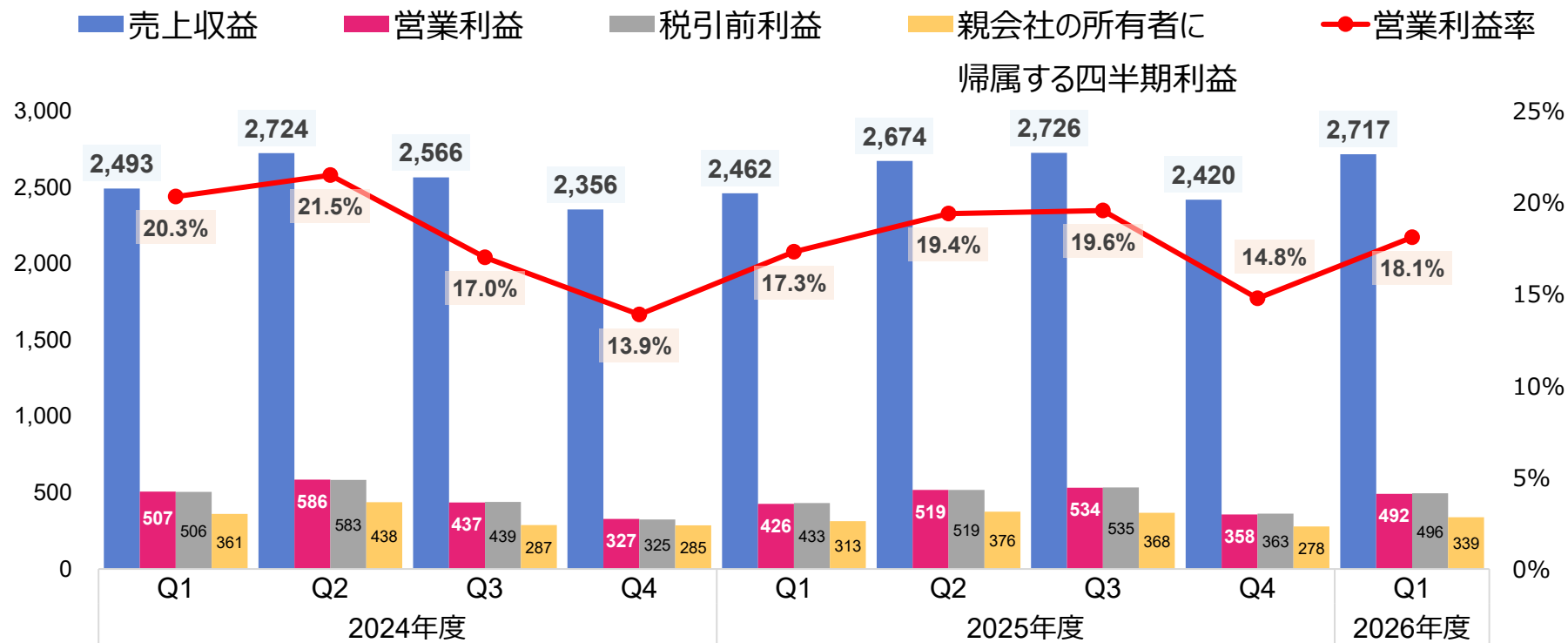
21
(億円)

	2025年度Q1 (4-6月)	2026年度Q1 (4-6月)	前年度比
営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF）	184	232	48
投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF）	-372	-362	10
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	-188	-130	57
財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF）	-536	-520	16
為替変動による影響等	-1	43	44
現金及び現金同等物の増減	-724	-607	116
期末の現金及び現金同等物の残高	2,910	2,991	81

業績推移（四半期）

22

(億円)

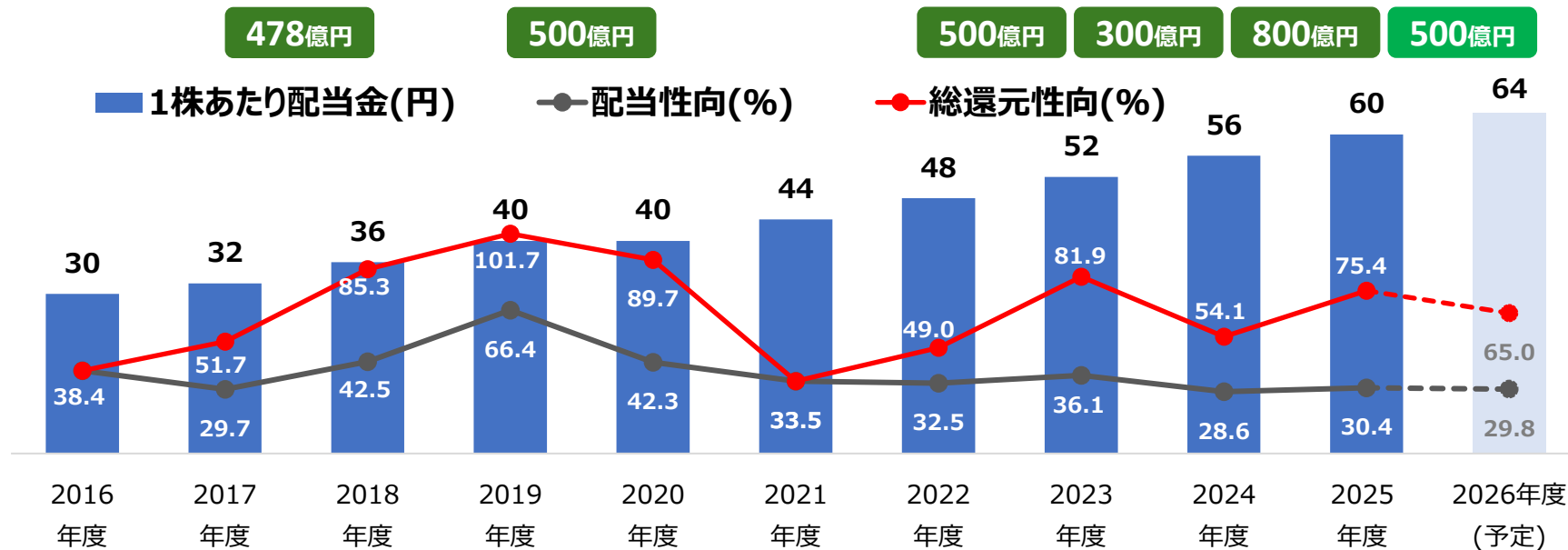


株主還元

2026年度の配当金は4円増配の年間64円を予定

2026年4月から8月にかけて500億円の自己株式を取得する予定

自己株式の取得



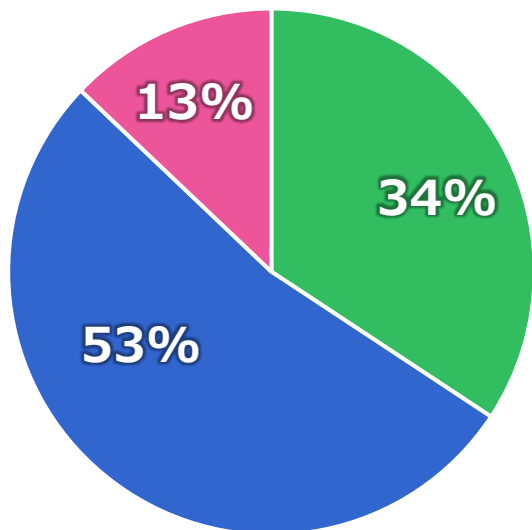
事業ポートフォリオの状況

(※調整額を含まない構成比率) 24
(%は四捨五入で表示)

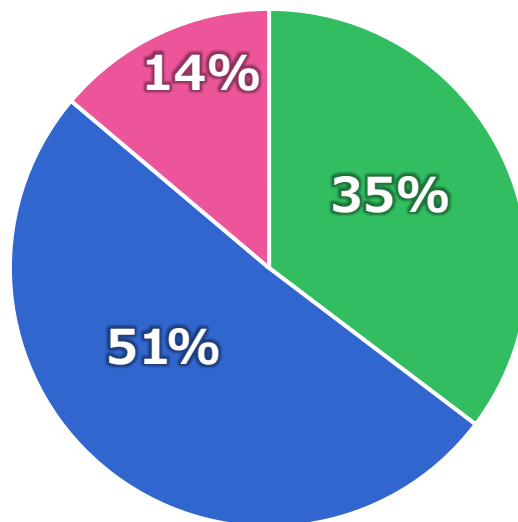
売上収益

■ インダストリアルテープ ■ オプトロニクス ■ ヒューマンライフ ■ その他

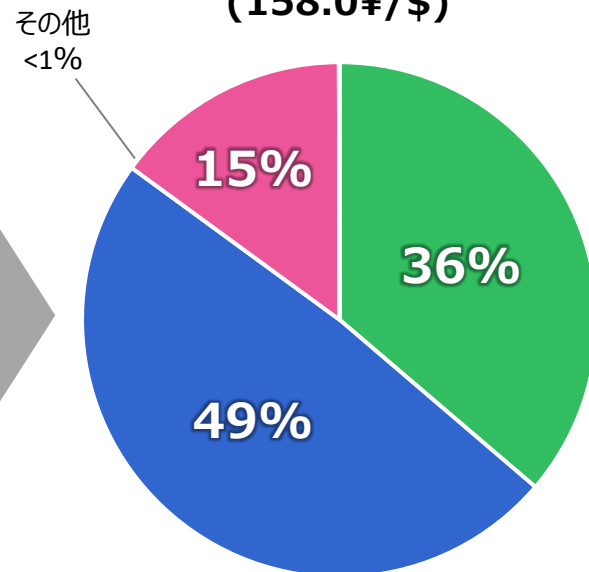
2024年度実績 10,139億円
(152.9¥/\$)



2025年度実績 10,282億円
(150.2¥/\$)



2026年度予想 11,100億円
(158.0¥/\$)



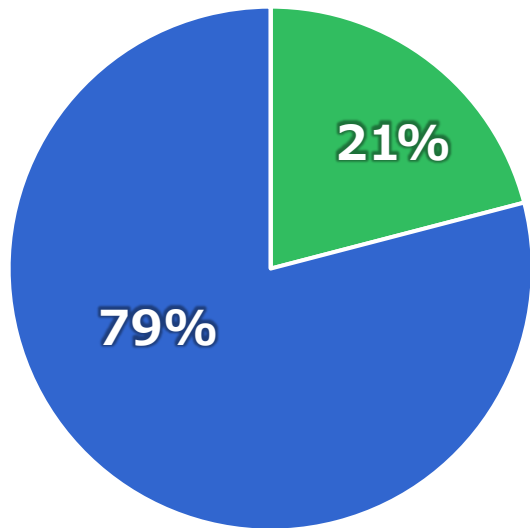
事業ポートフォリオの状況

(※調整額及びマイナスセグメントを含まない構成比率) 25
(%は四捨五入で表示)

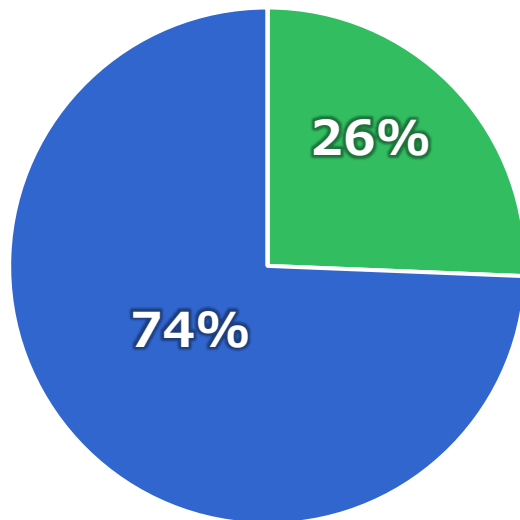
営業利益

■ インダストリアルテープ ■ オプトロニクス ■ ヒューマンライフ ■ その他

2024年度実績 1,857億円
(152.9¥/\$)

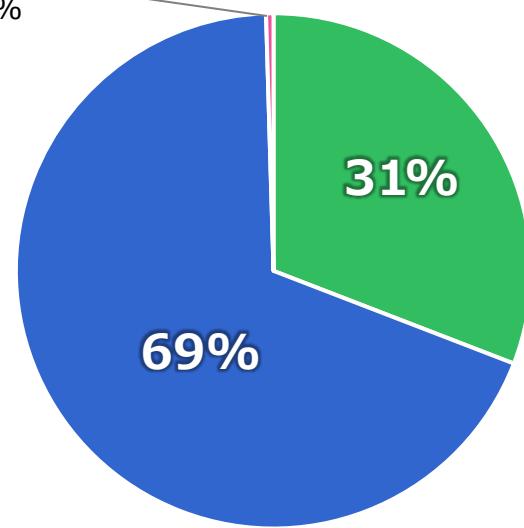


2025年度実績 1,836億円
(150.2¥/\$)



2026年度予想 2,000億円
(158.0¥/\$)

ヒューマンライフ
<1%



開示セグメント区分

26

2022年4月開示

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	プリント回路
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	膜ブレン
その他（新規事業）	

2022年7月開示

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	プリント回路
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	膜ブレン
	パーソナルケア 材料
その他（新規事業）	

2023年4月更新

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	回路材料
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	膜ブレン
	パーソナルケア 材料
その他（新規事業）	



Nitto

Innovation for Customers